

# JWCBEAUTY

vol. 1  
2025



創刊号

# CONTENTS

**JWCBEAUTY** は  
ビューティーページェントを中心とした情報の発信と、  
関連する人々の美意識・ライフスタイル・美のヒント・  
TIPSなどを紹介していきます。  
また、  
社会貢献活動や国際的な活躍を目指す人材の  
発掘・育成にも焦点を当て、  
地球レベルの問題への取り組みなど、  
より広い視野を持つ美を追求する姿勢を  
フォーカスしていきます。

02	巻頭インタビュー
05	日本人が活躍した世界大会レポート
14	COUTURE FASHION WEEK MALAYSIA 2025
20	JWCの慈善活動～フィリピン～
23	日本フィリピン合作 国際親善映画
26	TOPIC
27	海外パートナーシップ企業紹介
28	世界へ広がるパートナーシップ
29	編集後記





## 未来は待つものではなく、 自ら切り拓くもの

### 浅井理恵

JWC2024 総合グランプリ

品川プリンスホテルで開催されたジャパンウイメンズコレクション2024で50代部門から見事に総合グランプリを獲得した浅井理恵さん。「挑戦する気持ちは一生の宝」とその波乱万丈の半生を語って頂きました。

#### しっかり者の少女が見た夢

Q. この度は JWC2024 総合グランプリおめでとうございます。小さい頃はどんな子どもでしたか？

ありがとうございます。

3人兄妹の真ん中で育ち、母からは「あなたは本当に手がかかるない、助かるわ」とよく言われていました。少し寂しさを感じることもありましたが、「自分がしっかりしなければ」と思う場面が多く、その分多くの成長の機会をいただいたように思います。

小学生の頃は休み時間になると下級生や同級生に囲まれ、頼りにされるのが嬉しくて、自然と面倒を見ていきました。

Q. 子ども時代の夢は何でしたか？

小学校の先生になりたいと思っていましたが、大学時代に演劇やモデルのスカウトを受け、夢が広がりました。しかし家庭の事情から無難な道を選び、証券会社に就職。責任ある仕事にやりがいを感じながら働いていました。

「夢は変わっても、挑戦する気持ちは一生の宝」

#### 6度の手術を越えて掴んだ “命の意味”

Q. 順調に見える中で、大きな試練もあったそうですね。

結婚後、子どもを望みましたがなかなか恵まれず、やっと授かった喜びも束の間、難産の末、半年後には子宮癌を宣告されました。3年間で6度の手術を受け、努力だけではどうにもならない挫折を痛感しました。

Q. そこからどのように立ち直られたのでしょうか。

入院中、抗癌剤治療を受けながらも明るく励ましてくれる年上の患者さんと出会いました。その方が数週間後に亡くなられたことを知り、「私は生きている。命があることに感謝して生きよう!」と強く思いました。

「努力しても叶わないことはある。けれど“生きている”こと自体が力になる。」

この経験が、私の価値観を大きく変えました。人に勇気や希望を届けられる存在になりたいと心から願うようになったのです。



Interview with  
RIE ASAI



#### 女優活動とミセスコンテストへの挑戦

Q. 女優やミセスコン挑戦のきっかけは？

子どもが大学に進学する頃、「私も新たな一步を踏み出そう」と女優を目指して活動を始めました。その後、ライバーとして世界中のの方々と交流する中で、ミセスコンテストに挑戦するきっかけをいただきました。

Q. コンテストはいかがでしたか？

一年目は全く結果が出ませんでした(笑)。しかし多くの方に支えていただきながら挑戦を重ね、翌年2023年の世界大会でグランプリを獲得。そしてJWC2024では念願の総合グランプリをいただきました。諦めずに挑み続けることの大切さを実感しました。



#### 子どもたちに希望を— 音楽と教育で未来を切り拓く

Q. 具体的な活動について教えてください。

フィリピンやタイのスラムに暮らす子どもたちに学用品やランドセルを届けたり、使われなくなった楽器を贈りオーケストラの結成のお手伝いをしたりしました。資金を集めて日本に招待し、タイ大使館で演奏会を開催。音楽を通して喜びと希望を共有しました。

また昨年のニューヨークコレクションでは、フィリピンのバナナの皮で作られた布地でできたドレスを購入してランウェイを歩き、その売上が子どもたちの教育や食料支援につながりました。

「誰かの力になることで、自分の世界も広がる。」

Interview with  
RIE ASAI

## 美意識

Q. あなたにとっての美とは？

私にとって美とは、外見を整えることだけではなく、心の在り方や日々の生き方から育まれるもの。

教養や文化、そして自分の生き様に誇りを持ちながら、内面と外見を調和させて磨いていく姿勢こそ、本当の美しさだと信じています。

## 目指す未来— —教育で子どもたちが自分らしく生きられる社会を

Q. 今後の目標は？

私は普段、塾の講師として子どもたちに学びを伝えています。単に学力を伸ばすだけでなく、歴史や文化に触れ、誇りを保ちながら自分らしく生きる力を育むことを大切にしています。

世界中の子どもたちが国籍や宗教、性別、経済状況に関わらず平等に教育を受けられる社会を願っています。与えられるのを待つのではなく、自ら未来を切り拓く力を育むこそ、真の教育だと信じています。

「未来は待つものではなく、自ら切り拓くもの」

## 読者へのメッセージ

人は誰でも進化できます。夢を諦めず、挑戦を続けてください。

そして、自分だけでなく、人の幸せも応援できる人になってほしいです。

私も挑戦を重ね、子どもたちが幸せに生きられる社会を目指して歩み続けます。すべての経験に感謝し、信念と誇りを胸に、希望の光を広げていきます。

本日はありがとうございました。



### Profile 浅井理恵 さん

#### 趣味

乗馬 4級 取得  
小型船舶 1級 取得  
ヨット  
楽器演奏（ピアノ・ハープ・ジャンベ・馬頭琴など）  
ドライブ  
温泉

#### 職業

俳優  
モデル  
塾講師  
ウォーキング講師

#### 芸歴

##### 『ドラマ』

三池崇史監督

特撮テレビドラマシリーズ「ガールズ×戦士シリーズ」

- アイドル×戦士 ミラクルちゅーんず！（テレビ東京）
- 魔法×戦士マジマジョビュアーズ！（テレビ東京）
- ひみつ×戦士ファンタミラージュ！（テレビ東京）
- ボリス×戦士 ラブパトリーナ！（テレビ東京）

YouTube ドラマ

●空と山と緑（カートプロモーション）

##### 『映画』

●土竜の唄 香港狂騒曲（三池崇史監督）

●ラプラスの魔女（三池崇史監督）

●第二警備隊（柿崎ゆうじ監督）

●太陽の家（権野元監督）

●みをつくし料理帖（角川春樹監督）

●土竜の唄 FINAL（三池崇史監督）

●妖怪大戦争 ガーディアンズ（三池崇史監督）

『バラエティ』

●世界一受けたい授業（日本テレビ）

『舞台』

●トワイライトムーン（柿崎ゆうじ脚本・演出）

『ナレーション』

●第1回 鳥獣トメ・知覧特別攻撃隊慰靈法要祭の映像ナレーション

タイ | マレーシア | フィリピン | ベトナム | カンボジア

# 日本人が活躍した 世界大会 レポート

## 起源

古代ギリシャ・ローマ 美の女神アプロディーテを称える祭典や、最も美しい女性を選ぶ伝承（パリスの審判など）があり、これが後世の美的競争の源流とされることがあります。中世ヨーロッパ 宮廷文化の中で「美しい女性」をたたえる風習がありましたが、近代的な競技性はまだありませんでした。

## 変遷

19世紀前半（アメリカ）1820年代にアメリカの観光地で「最も美しい女性」を選ぶ小規模な催しが始まりました。現代では外見だけでなく、知性・教養・スピーチ力・社会貢献活動（ボランティアや環境問題への取り組み）なども重視されるようになっています。ジェンダーレスや年齢制限を緩和する動きも見られ、多様性を取り入れた形に変化しています。

## 普及

1921年「ミス・アメリカ」誕生 ニュージャージー州アトランティックシティで観光振興のために始まった大会が、後の世界的なモデルとなりました。1951年「ミス・ワールド」創設（イギリス）最古の国際大会で、最初は「水着フェスティバル」として企画されました。1952年「ミス・ユニバース」創設（アメリカ）世界中の代表を集めて競う国際大会として人気を博しました。1960年代以降「ミス・インターナショナル」「ミス・アース」などが誕生し、国際的な「四大ビューティーペイント」と呼ばれるまでに発展しました。



# I AM MODEL SEARCH MRS. INTE

National Director / Asuka Naito



# RNATIONAL 2025 in Thailand



# Miss. Mrs. Global 2025 in Malaysia



National Director / Asuka Naito





# Woman of the World Pageants 2024

National Director / Asuka Naito



# in Philippines





# Miss Business Global 2024 in Vietnam

National Director / Mika Sayama





# Miss Planet International 2023 in Cambodia

National Director / Mika Sayama





世界4大会（パリファッショ  
ンウィーク、ミラノファッショ  
ンウィーク、ニューヨークファッショ  
ンウィーク、東京ファッショ  
ンウィーク）に次ぐ歴史あるパリの  
オリエンタルファッショショーか  
ら派生して開催されているク  
チュールファッショウイークマ  
レーシア。

今回、日本人10人が選抜され、  
華麗なるランウェイが披露されま  
した。一行は26日にマレーシア  
のクアラルンプールへ入り、盛  
り上がる雰囲気の中、ホテルへ  
と移動。

部屋の割り当てにホテル側の  
手違いによる問題があり、対応

に追われるというトラブルがあっ  
たものの、翌日は、ホテルのフィッ  
ティングルームで、無事フィッティ  
ングを終えました。

その後は、協賛者様のクリニッ  
ク『NEU CLINIC』を表敬訪問、  
夜は、ガラパーティーがホテルと  
は別の会場でスponサー様、デ

ザイナーの方々を交え、JWC関  
係者も招待され華やかに開催さ  
れました。

8月29日、当日、参加者はホ  
テルで準備後、フォー・シーズン  
ズホテルが入る会場へ移動。世  
界中から集まったモデル総勢70  
名による、リハが行われました。

参加者からは、「初めての経験で  
緊張しましたが楽しんでいます」と明  
るい声。

当初、18時スタート予定が押して  
1時間遅れてのスタートとなり、夜、  
10時過ぎまで、華麗なるショーが続  
きました。

終了後、日本人一行を率いる、木  
野幸久ジェネラルマネージャーに話  
を伺いました。

「今回初めて日本からの参加でした  
が、日本人デザイナーAKKIさんの  
和テイストデザイン『QLOGO～黒衣  
～』も素晴らしい、1人1人の採寸  
を元に皆さんのお衣装を作成してランウェ

イを歩いて貰いました。デザイナーも  
20名位おり、レベルの高いファッショ  
ンショーだったと思います。今後もこ  
のようなイベントで多くの日本人が世  
界へ出て輝いてもらわればと思いま  
す。」と、今後の意欲を語ってくれま  
した。

COUTURE  
FASHION WEEK  
MALAYSIA 2025  
producer  
ZIIN BRITSHI



QLOGO 2nd Collection2026』日本とマレーシアのスタイリストブランド『QLOGO ~黒衣~ (クロゴ)』として、たくさんの方々に応援いただき、クアラルンプールのフォーシーズンズホテルにて開催された Malaysia Couture Fashion Week 2025 (MCFW) に選出いただきました。

Malaysia QLOGO (クロゴ) のオープンから 1 年 4 ヶ月となり、8/29 のコレクションでマレーシア創業 2 年、世界で 3 回目のコレクションになり、怒濤の日々でした。本番まで様々なハプニングもありましたが、今回は早い段階で観覧の VIP 席が埋まり、初めましての方含めて想定以上のお客様のご来店とカスタムオーダーをいただき、コレクションのドレス含めて全く追いつきませんでした。

パーソナルスタイリングブランドとして、モデル一人一人の個性を表現する。スタイリングに重要な色(光)、形、素材。今回は、日本と多民族国家マレーシアの文化を融合し、ワヤン・クリ(影絵)をテーマに日本人モデル、一人一人のイメージを着物ドレスに落として、制作させていただきました。

日本や世界で素晴らしい活躍をされているモデルの方々と、マレーシアのショーを成功させることができ、とてもありがとうございます。またマレーシアのセランゴール州の王様や女王様とのご挨拶の機会もあり、とても豪華な会となりました。



本当は皆さんにご覧いただきたいですが、日本人として、マレーシアにてこの 2nd Collection ができたことが大変光栄です。11 月の TCFW でも QLOGO のコレクションを行うことになりそうですので、ぜひ応援いただけますと幸いです。

MCFW=パリの歴史あるオリエンタルファッショショナーからの派生としてのマレーシアのクチュールファッショショーンウイーク。アメリカ・フランス・インド・ドバイなど世界中から今回は 12 カ国 のデザイナーが集まり、日本ブランドとして参加させていただきました。(TCFW は東京)

改めまして MCFW オーガナイザー Mr.Ziin、JWC 木野さん、小林さん、そしてお越しいただきましたお客様と QLOGO チーム、関係者様に多大なる感謝を申し上げます。そしていつも応援いただいている皆さま!!!ありがとうございます。

#### Profile

#### Akki Tokuda

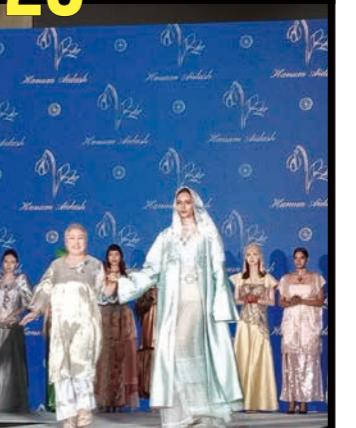
日本のクリエイティブを世界にのと、パーソナルスタイリストを軸に『人から買うファッションの時代』を創りたいと想っています。【QLOGO ~黒衣~】というパーソナルスタイリングブランドを立ち上げました。



日本人の中では  
谷由梨佳さんが、  
AMBASSADOR  
MODEL MALAYSIA  
2025 を受賞しま  
した。

## COUTURE FASHION WEEK

## MALAYSIA 2025.8.29



Model : Yurika Tani

Partner Company : Japan Women's Collection  
Strategic Partner : Yukihisa Kino

フィリピンのスラム街は、首都マニラやセブ、ダバオといった大都市を中心に多く見られます。そこでは急速な都市化や経済格差の影響を受けて、農村部から仕事を求めて移住してきた人々が密集して生活しています。

## フィリピンの現状

1750万人

フィリピンの人口の15.5%、約1750万人の人々が、5人家族で1か月12,082ペソ(約27,000円)以下で暮らしています。(世界銀行・2023)

フィリピンの子ども(5~17歳)  
の約59万7千人が児童労働を  
しているとされています。(フィリ  
ピン政府・2020)※児童労働とは、  
義務教育を妨げる労働や、  
法律で禁止されている18歳未満  
の危険・有害な労働のことです。

1人/40人

1人/3人

フィリピンの子どもの3  
人に1人は、義務教育  
を終えられません。  
(UNESCO・2025)

フィリピンのスラム街には移住者が増え続けるため、改善が追いつかない。短期的な物資支援だけでなく、教育・雇用を通じた自立支援が不可欠という課題があることがわかりました。



## JWCの慈善活動～フィリピン～



私たちJWCチームは、スラム街  
マニラ桜ライオンズクラブの

マニラ・ライオンズクラブは、フィリピンに所在するラ  
イオンズクラブで、1952年に日本最初のライオンズク

の子供たち支援を  
方々とスタートしました。

ラブである「東京ライオンズクラブ」のスポンサーとなり、日本  
におけるライオンズの発展の基礎を築いた歴史的なクラブです。



### JWC 慈善活動の今後の展望

フィリピンのスラム街で暮らす子供たちは、日々厳しい環境  
の中でも夢を失わず、未来を信じて生きています。私たちの  
活動は、その小さな希望に寄り添い、教育・食・安心できる  
居場所を届けることから始まりました。

これから先も、一時的な支援で終わるのではなく、子供たち  
が自らの力で未来を切り開けるような、持続可能な支援  
を目指してまいります。

困難の中にあっても輝きを放つ子供たちの笑顔は、私たち  
に勇気を与えられます。その笑顔を守り、さらに広げてい  
くために、これからも心をひとつにして歩み続けます。

小さな一歩が、大きな未来をつくると  
信じて。

JWCは今後マニラ国際空港から南へ1  
時間ほど行った先にある日本語学校 JP  
TAKAHASHI TRAINING CENTER をサ  
ポーしていきます。ゆったりとした敷地  
の中には宿泊施設も備えられています。  
エステシャン育成コースも併設予定です。

2025.02.16 NAPA COMPOUND SCHOOL



サクラライオンズクラブマニラとJWCの合同プロジェクトでマニラの南エリア、  
NAPA COMPOUNDの学校を訪れ、ランドセルと食料の支援をさせて頂きました。

02.17 JP TAKAHASHI TRAINING CENTER



将来日本で働きたいと、ここ TAKAHASHI SCHOOL でも  
子供たちが日本語を学んでいます。

02.19 Bacolod の孤児院



フィリピンの南の島、Bacolod の孤児院を訪ねました。  
大人になっても職のない孤児はここで過ごします。



# 子供たちの未来に国境はない

この映画を通じて、私たちは小さな一歩からでも世界を変えられることを信じ、  
皆さんと共に次世代の子どもたちへ希望を届けたいと願っています JWC 関係者一同

## [あらすじ]

ステージ4の癌を告知された蒼井奏(55歳)は病床で混濁する意識の中、自らの人生を振り返る夢を見ていた。幼少期は裕福な家庭に育ち何不自由なく暮らしていた奏だが父親の経営する会社が破綻した事によりそれまでの人生は一変する。破綻がきっかけで失踪した父親、無理と心労が祟り帰らぬ人となった母親。天涯孤独となった奏を支えたのは母親の遺したある言葉と、幼少期から慣れ親し

んだハープ演奏。

やがて成人した奏はNPO法人が主催する国際交流の一環としてフィリピンを訪れる。現地の子供達の前でハープ演奏を披露し歓迎を受けた奏だが、演奏を食い入るように見つめていた少女マリアと運命的な出会いを果たす。マリアの粗末な身なりと壊れた鞄を見た奏は次回は沢山のプレゼントを持って訪れる事を約束する。

再び沢山のプレゼントを持ってフィリピンの学校を訪れた奏であったがそこにマリアの姿は無かった。数ヶ月前にマリアは小児癌で他界していたのだ。悲しみに暮れる奏の心を癒したのは子供達の笑顔と優しさに満ちた言葉であった。しかし現実世界では病床の奏は最後の刻を迎えようとしていたが、その時奇跡は起きる…



## キャスト

蒼井奏  
蒼井奏(幼少期)  
マリア  
蒼井春香(奏の母)  
蒼井武男(奏の父)  
大竹(秘書)  
差押え執行人  
天使1  
天使2  
ダンバース(学校関係者)

浅井理恵  
長谷川津  
ティファニー・ビリエ・エステラ  
八田有美香  
瀧航大  
東正実  
藤元高之  
ファオナ・メイ・ロスコ  
タリア・ヌネエス  
ゴトウ・ダイアナリン・ハヴァ

他のNPO法人の人々1 新内雛乃  
他のNPO法人の人々2 秋島和良  
医師 濑田吉史  
看護師 浩澤真美  
館脇昭一 フィリピン学校日本人校長  
嶋村喜一郎 NPO法人代表

楠美聖寿  
むかい誠一  
他

## スタッフ

脚本・監督 楠美聖寿  
エグゼクティブプロデューサー 小林良夫  
プロデューサー 木野幸久  
監督補 生野将人  
撮影・録音・照明(星野スタジオ) 星野芳信  
星野祐介  
畔蒜雄大  
宇野正洋  
八田有美香  
撮影応援(日本撮影班) ゴトウ・ダイアナリン・ハヴァ  
助監督(日本撮影班)  
制作進行(日本撮影班)  
フィリピンロケコーディネーター ロケ協力 所沢白羽会病院  
J・secret スペースキューブ  
協力 フィリピン大使館



クオリティの高い店を創るべく、タイからベトナムへ



## 小さな苗を大きく成長させていきたい

タイバンコクで日本人女性オーナーのこだわりを持った美容サロンとして注目されている

『Eyelash Salon SEEDRING』。

バンコクでも日本人が多く住む、トンローエリアに位置し、開業9年目というNOZOMIさんがオーナーをつとめている。



### トンローは日本人が多いエリアですか？

このエリアは日本人が多く日本人100%コンドミニアムとかもあるんです。

### 開業9年目ということですが

当初は小さなスペースで展開していましたが今年、美容サロンの規模を拡大して以前のスペースをバーにし、路面店へと移動しました。現在は美容サロンとバーの2店舗経営しています。

### どういうテーマの店なんですか？

Seedingという名には『小さな苗を大きく成長させていき……たい。』という願いが込められていて、あなたの目元をより華やかにデザインする事で自信の溢れる女性へと導く、というコンセプトなんです。日本のエステのようなきめ細かな施術を心がけていて、この丁寧な対応が現地の方や外国人に受け入れられているのだと思います。

### サロンのモットーは何でしょうか？

日本のサロンよりクオリティの高いサロンを目指していて、タイの地元のサロン



日本式のサロンがバンコクでも受け入れられているようです。

今後のNOZOMIさんの国を越えた活躍に期待したいと思います。



## TOPIC

## JiBC×INCA Japan



この大会は美容業界に関わる各国の多数メーカー様とサロン様の協賛のもとで、日本の美容の技術向上を目指す美容業界のコンペティションです。日本で活躍する素晴らしい美容技術者を世界へ導くお手伝いができればと思っています。INCA Japan International Beauty Competition 代表木村かおる

### INCA JAPAN INTERNATIONAL BEAUTY COMPETITION

JiBC大会は各国のビューティーアーティストが集結日本の素晴らしいビューティーアーティストを海外へ海外へビューティーアーティストを日本へ…ビューティーアーティスト選手権未来のために…



### ★ Dubai competition ★

世界選手権2025  
JiBC beauty online championship  
2025年1月2日授賞式  
Instagram中継



Jphoto

Jphoto



～写真は未来の宝物です～  
Jphotoは、マレーシアでの一生の思い出として、お子様の成長と発達のこの瞬間に写真に収めたいというお客様のご要望にお応えします。Jphotoは、新生児写真、お宮参り、百日祝い、誕生日、着物（子供と大人）、企業写真など、幅広いサービスを提供しています。



また、卒業写真、結婚式、誕生日パーティー、企業イベント、スポーツイベント、KLCC公園、TTDI、ボタニカルレイクガーデン、ご自宅などの家族写真など、屋外での写真撮影も行っています。マレーシア滞在の思い出を写真に残してみませんか？プロのカメラマンが特別な写真をお届けします。

## MIRAI BEAUTY SALON



MITSUKOSHI BGCで叶える、憧れのサラサラヘア！髪質改善縮毛矯正ならミライビューティサロン / MIRAI BEAUTY SALON

BGC MITSUKOSHI（三越）の2階に、本格的日本スタイルのヘアーサロンが2023年オープン。これまで当地の美容室では、なかなか伝わらなかったヘ



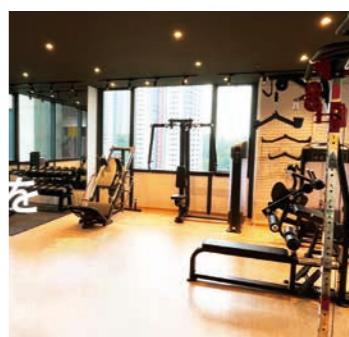
アーススタイルのこだわりが伝わる快適さを提供しています。ディレクターの森川さんは、日本でもトップスタイリストとして活躍。彼の技術教育の元、フィリピンでは味わえない本格的日本美容を体験出来ます。店内の内装資材・最新鋭機材は、すべて日本から持ち込むなど、徹底した日本スタイルのヘアーサロンです。



Trigger

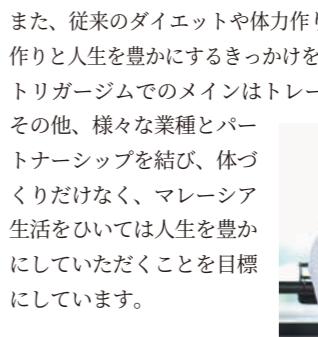
GYM

トリガージム



トリガージムは「人生を豊かにするきっかけを」つくれていただくための完全予約制パーソナルトレーニングジムです。

ボディメイク初心者から上級者まで、充実の設備でサポートさせていただきます。



また、従来のダイエットや体力作りだけでなく、様々な方面から身体作りと人生を豊かにするきっかけを提供します。

トリガージムでのメインはトレーニングと食事管理になりますが、その他、様々な業種とパートナーシップを結び、体づくりだけなく、マレーシア生活をひいては人生を豊かにしていただくことを目標にしています。

# 世界へ広がるパートナーシップ

JWC Partnership Expands Globally



アラブ首長国連邦



## 編集後記

ミセス世代を中心とした世代別ページントの先駆けとして誕生したジャパンウイメンズコレクションは、今年で10周年を迎えました。これまでの間、全国へとムーブメントが広がり、多くの素晴らしいコンテストが誕生してまいりました。

近年では、国境を越えて世界大会で活躍するコンテストも増え、ますます国際色豊かな大会へと成長しています。2024年大会からは、多くの出場者が世界へ挑戦し、入賞者も続々と誕生しています。

2024年12月  
フィリピン大会にて日本代表がグランプリを獲得  
2025年1月  
マレーシア大会にて2名がトップ3・トップ5に入賞  
2025年8月  
タイ大会にてグランプリ受賞  
2025年10月  
ドバイ大会に日本代表が出場予定  
そして、2026年1月には、3名がマレーシアで開催される世界大会への挑戦を控えています。

さらに、海外でのファッションショー参加や慈善活動にも積極的に取り組み、その活動を取り上げる映画制作も始まっています。

こうした広がりを背景に、大会公式カタログの枠を超えて、「ビューティーが世界を変える」というテーマのもと、新たに『JWC BEAUTY』を創刊いたしました。

私たちは今後も、「世代を超えて輝く、国を超えて羽ばたく」をスローガンに掲げ、次の時代を力強く切り拓いてまいります。

引き続き、関係者の皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

編集人 小林 良夫

**JWCBEAUTY**  
発行・編集人 小林 良夫  
装丁・デザイン デザインオフィス Sincere 藤井 恒栄  
発行所 一般社団法人ジャパンウイメンズコレクション  
〒104-0061 東京都中央区銀座 6-13-16  
WALLビル5F